

I 令和7(2025)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開

1 少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

少子化トレンドの反転

少子化傾向に歯止めをかけるべく、「結婚支援の充実」、「子育て環境の整備」、「働き方改革の推進」を3つの柱として、オール栃木体制で少子化対策を強力に推進していく

「栃木県こども未来推進本部」において、幅広い施策を総合的に推進

目指すべき姿① 若者の結婚の希望をかなえるとちぎ

【第1の柱】結婚支援の充実



> 移住と連携した結婚支援の強化

- ・東京圏での出張相談会の開催
- ・移住関係イベントへの出展
- ・ウェブ広告によるPRの実施
- ・センター無料登録キャンペーン
- ・婚活×移住ツアーの開催

> 企業等と連携した結婚支援の強化

- ・センター会員への伴走型支援等
- ・異業種交流会の開催
- ・独身証明書のオンライン確認を可能とするためのシステム改修

> 縁結びムーブメントの創出

- ・ライフデザイン講座の開催
- ・デートコース提案等による交際進展の後押し

目指すべき姿② 理想のとも働き・とも育てを実現するとちぎ 目指すべき姿③ こども・子育て世帯にやさしいとちぎ

【第2の柱】子育て環境の整備



> 少子化対策外部人材の活用

- ・県及び市町へのアドバイスの実施

> 「喜びのある子育て」推進キャンペーンの展開

- ・イベントや啓発コンテストの開催

> プレコンセプションケアの推進

- ・サポート人材バンクの設置等

> 動画広告による気運醸成

- ・プロモーション動画の配信

> 子育て世代にやさしいとちぎづくり

- ・産後ケア利用者負担の軽減
- ・第2子保育料の免除

> こどもまんなかとちぎの創出

- ・こども施策へのこどもの意見反映
- ・こども食堂への物価高騰対策支援

> 子育て世帯等への住宅断熱化の支援

> 県内就職者への奨学金返還支援

【第3の柱】働き方改革の推進

職場環境・労働時間 男性の育児参加



> とも家事の普及啓発

- ・とも家事PR動画の制作及び配信
- ・企業と連携した啓発キャンペーン

> 男性育休の取得促進

- ・男性従業員がはじめて育児休業を取得した県内中小企業への助成
- ・企業向けセミナーの開催

> 仕事と子育ての両立支援

- ・女性向けキャリアコンサルタントによるオンライン相談等
- ・働き方改革の推進に向けた社外専門家による伴走支援等

> アンコンシャス・バイアスの解消

- ・若い世代向け啓発の実施

主な取組内容（下線付きは新規の取組）

※「とちぎ少子化対策緊急プロジェクト(R5～6)」の考え方を受け継ぎつつ、令和7年度以降は「栃木県こどもまんなか推進プラン(現在策定中)」に基づき、少子化対策を全庁一丸となって展開

1 少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

◎：新規 ○：一部新規

少子化トレンドの反転

◎ ① 栃木県人口未来会議運営費

131万円（総合政策部）

- ▷ 人口減少問題の克服に向け、県・市町・企業・関係団体等が一丸となって取り組むため、「栃木県人口未来会議」を設置

○ ② 縁結びムーブメント推進事業費

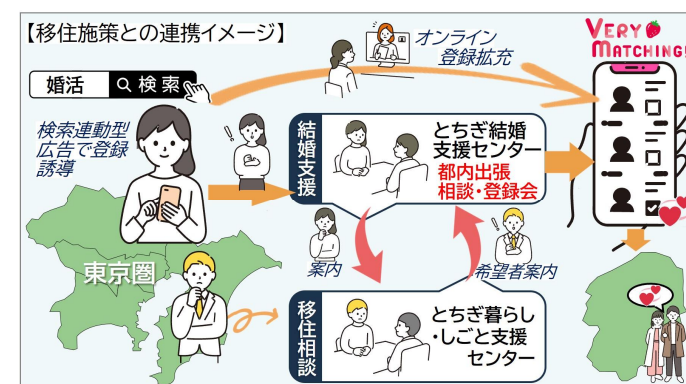
6,946万円（生活文化スポーツ部）

ア ◎移住と連携した結婚支援

- ▷ とちぎ結婚支援センターの活動範囲を東京圏に広げ、移住促進施策と連携し、更なる出会いの機会を創出
 - ✓ 出張相談会の開催や移住関係イベントへの出展、ウェブ広告によるPR
 - ✓ とちぎ結婚支援センターの登録料割引キャンペーンの実施
〔対象者〕20～30代女性
 - ✓ 本県男性とのマッチングに向けた県内交流イベント（バスツアー）の開催

イ ◎会員登録の利便性向上

- ▷ マイナポータルを利用して独身証明書をオンライン確認できるよう、とちぎ結婚支援センターのシステムを改修



○ ③ 笑顔輝くこども・子育て支援プロジェクト加速化事業費



10億5,489万円（保健福祉部）

ア ◎外部人材の活用

- ▷ 専門的知見を有する外部人材（3名）を少子化対策アドバイザーとして委嘱し、県や市町に対する助言・提案を実施

イ ◎「喜びのある子育て」推進キャンペーンの展開

- ▷ こどもの成長の喜びや家族の絆など子育てのポジティブな面を広くPRするため、キックオフイベント～啓発コンテスト～交流発信型親子イベントを連続的に開催

ウ ◎プレコンセプションケア※の推進

- ▷ サポート人材バンクを設置して市町・学校・企業が実施するセミナーへの講師派遣等を行うほか、普及啓発動画を制作

※プレコンセプションケア…将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

うち第2子保育料免除 9億2,394万円

▼「喜びのある子育て」推進キャンペーン年間スケジュール

時期	8月	9月	10月	11月	12月～
項目	キックオフイベント	啓発コンテスト（募集は8月～）		親子イベント	コンテスト作品展示
内容	宣言、基調講演、出展等	レポート・写真等の部門で複数の応募テーマ設定		子育て相談会、トークショー	大型商業施設等で複数実施

1 少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

少子化トレンドの反転

令和6年度2月補正予算における関連事業 ～物価高騰などで苦しんでいる子育て世帯等に対し、様々な形で支援～

1. こども食堂物価高騰対策緊急支援事業費

1億808万円（保健福祉部）

- ▷ 食材料費等の高騰により運営が困難な状況にあるこども食堂に対し、食事提供等に必要な経費を助成

補助対象経費	①設備導入・備品購入費 ②食材購入等の運営費
補助率	10/10
補助上限額	① 1 か所当たり45万円 ② 1 か所当たり30万円

2. 子育て世帯等住宅断熱化支援事業費

4億9,500万円（環境森林部）

- ▷ 子育て世帯等の負担軽減と暮らしの向上を図るため、新築・既存住宅の断熱化を行う場合に、国の補助制度に上乗せして助成

補助対象者	18歳未満の子を有する世帯 又は 夫婦のいずれかが39歳以下の世帯等
補助対象経費	①ZEH水準住宅の新築 ②既存住宅の断熱改修（いずれも賃貸を含む）
補助率	①定額 ②国庫補助額の1/2以内
補助上限額	① 1 戸当たり30万円 ② 1 戸当たり10万円

3. とちぎ未来人材応援事業費

5,514万円（産業労働観光部）

- ▷ 子育て等の将来的な経済負担を軽減するため、地元産業界等からの寄附金と県の出捐金による基金の積み増しを行い、県内企業に就職した学生等に対して奨学金の返還を支援
（R6年度募集から対象業種を全業種（公務員を除く）に拡充）

1 少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

◎：新規 ○：一部新規

次代を担う人づくり

全てのこどもたちの可能性を最大限に引き出すため、デジタル化・グローバル化時代に対応した学力向上の取組強化や、特別支援教育の更なる充実を図っていく

◎ ④ 新たなとちぎ学力向上推進事業費

2,517万円（教育委員会事務局）

ア 新たな学力定着プログラムの構築

- ▶ ICTを効果的に活用して学力向上につなげるため、CBT※による学力定着プログラムを導入（R8年度に運用開始）

※CBT（Computer Based Testing）

…従来のペーパーテストとは異なり、コンピュータを利用して実施するテスト

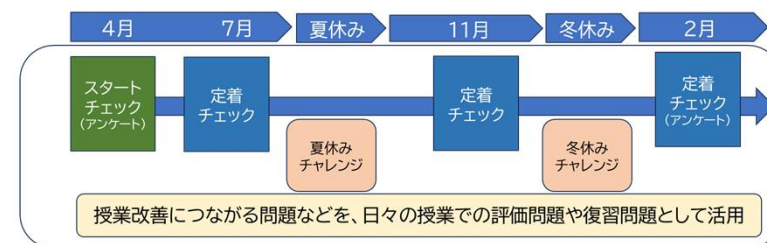
イ 英語教育の強化

- ▶ 日常生活で活用できる英語力の習得に向け、AI学習アプリ等により実践的な取組を行う英語モデル校を選定（小・中学校各7校を予定）

ウ グローバルリーダーの育成

- ▶ 国際社会で活躍できる人材を育成するため、英語を重点的に学ぶ取組を行う研究校を指定（1校）〔R7年度〕ネイティブ外部講師による集中講座の実施 等

▼CBTによる学力定着プログラムのイメージ（1人1台端末を活用）



定期的にチェックを行い、即座に結果をフィードバックすることで、その後の授業改善に生かす

◎ ⑤ 特別支援教育充実事業費

5,895万円（教育委員会事務局）

- ▶ 「特別支援教育の充実に向けた方針」に基づき、きめ細かな指導・支援の充実や教育・福祉・地域の連携を強化
 - ✓ 地域の小・中学校との交流及び共同学習の充実
 - ✓ 長期休業中の宿泊学習の開催
 - ✓ 放課後等デイサービスなどとの連携体制の構築

◎ ⑥ 特別支援学校校舎等整備費

4億5,808万円（教育委員会事務局）

- ▶ 岡本特別支援学校における知的障害教育部門の新設に伴い、新校舎等を整備
- ▶ 寄宿舍閉舎後の跡地を利用した食堂棟の整備に向け、設計委託を実施（栃木・那須特別支援学校）
- ▶ 生活訓練施設の改修に向けた設計委託を実施〔R7年度〕栃木・那須特別支援学校
- ▶ 校舎のバリアフリー化を計画的に推進〔R7年度〕富屋・今市・国分寺・足利中央・益子・南那須特別支援学校

1 少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

◎：新規 ○：一部新規

女性・若者の活躍推進

男女間の賃金格差の是正に向け、女性が活躍できる環境づくりを加速するほか、若者の活躍の場を広げ、若者に選ばれとちぎの実現を目指していく

- ⑦ **G7レガシー推進事業費** R5年6月の「G7ジェンダー平等大臣声明（日光声明）」を踏まえ、男女共同参画・女性活躍を推進

8,669万円 (生活文化スポーツ部)
(産業労働観光部)

ア ◎「女性活躍推進フェロー（仮称）」の配置

- ▷ 女性活躍やジェンダー平等に向けた施策への助言等を行う専門人材（1名）を委嘱

イ ◎働く女性のキャリア支援

- ▷ キャリアコンサルタントによるオンライン相談を実施するほか、働く女性向けの支援情報を一元的に発信するウェブサイトを開設

ウ ◎企業の職場環境づくりの支援

- ▷ 企業内の働き方改革推進員を養成する講座の開催や、社外専門家による各企業の個別課題の解決に向けた伴走支援を実施

エ ◎若い世代向けの啓発

- ▷ アンコンシャス・バイアスの解消に向け、高校生のアイデアを取り入れた啓発資料や動画を作成

▼G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合
推進協議会主催レセプション（R5.6.25）



- ◎ ⑧ **とちぎ若者会議（仮称）設置・運営費**

123万円 (生活文化スポーツ部)

- ▷ 若者の意見を県の施策に反映させる仕組みとして、若者と知事が意見交換等を行う「とちぎ若者会議（仮称）」を開催

- ⑨ **若者未来チャレンジ応援事業費**

590万円 (生活文化スポーツ部)

- ◎若者団体の活動や企業・団体の支援情報が見える化して双方の連携を促進するため、「とちぎ若者応援バンク」としてウェブサイトを開設

- ◎ ⑩ **メディア芸術振興事業費**

100万円 (生活文化スポーツ部)

- ▷ 若者の関心が高いメディア芸術の振興に向け、県民意識調査を実施するほか、有識者等による「とちぎメディア芸術推進検討会（仮称）」を設置